

## F I J 月次活動レポート（2020年5月）

ファクトチェック・イニシアティブ（F I J）の活動にご注目・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。5月の活動についてご報告させていただきます。

### （1）新型コロナウイルスの誤情報への取り組み

画像1枚目は、新型コロナウイルス特設サイト「全ての検証対象情報」ページ <https://fij.info/coronavirus-feature/database> のスクリーンショットです。5月は様々な数字についての誤情報の広がり確認されました。2枚目の「東京都の病床数使用率は91%」など、当局の混乱ぶりとメディアの取材不足が伺われる事案も明らかになり、不正確な情報が政策や世論に影響を及ぼしているものと懸念されます。

特設サイトでは他にも、PCR検査数と死亡者数・死亡率との関係に言及した発信についての複数のファクトチェックをご紹介します。これらはF I J プロジェクトチームの調査情報を起点として記事化が実現した事例となります。

### 感染者の状況

（日付は検証記事が掲載された日です）

#### 【国内で拡散した情報】

- ✓ 6月2日の東京の新規感染の確認数は、49人 [🔗](#) (6/3)
- ✓ 東京のPCR検査数「5月19日はたった48人」 [🔗](#) (5/31)
- ✓ (5月11日時点で) 東京都の病床数使用率は91%、ひっ迫した状態が続いている [🔗](#) (5/22)
- ✓ (4月18日現在) 1万人近くの感染者のうち日本人は半分もいない [🔗](#) (5/12)

“

（5月11日時点で）東京都の病床数使用率は91%、ひっ迫した状態が続いている  
—5月11日NHKニュース、特設サイトなど。中国語圏でも多数報道

”

#### インファクトによる検証結果 誤り

東京都が修正発表した情報に基づき算定すると、5月7日時点での病床使用率は約50%、12日時点で約43%となり、NHKが報道した時点で「5割未満」であった。厚労省も、東京都の発表が不正確であったと認めている。

## (2) 海外向け発信の強化

5月8日に英語で発信するtwitterアカウントを開設、5月22日にファクトチェックレポート「Japan Fact-checks」

<https://en.fij.info/archives/weekly-052220/> の発行を開始しました。これらは、日本に関する誤情報の海外での拡散防止や、海外ファクトチェック団体との協力関係の強化などに取り組む「国際プロジェクト」の一環です。レポートは、日本における誤情報等のトレンド分析、注目事例などいくつかのコーナーで構成され、発行は概ね週1回、FIJ英語版サイトに掲載し、twitterやFacebookでも発信します。twitterでは海外団体との接触を積極的に行い、多くの反応をいただけるよう取り組んでまいります。

